

令和8年度
授業計画
講義シラバス
(令和7年度入学生)



千葉県立農業大学校
研究科

目 次

1	教育理念	1
2	履修規程	2
3	講義要項	
(1)	教育課程表	7
(2)	時間割	8
(3)	研究科授業シラバス概要	
ア	教養科目	9
	・ 実用英語Ⅱ	9
イ	専門教育科目	
(ア)	必須科目	10
	・ 加工・商品開発演習Ⅱ	10
	・ 農業経営実習Ⅱ	11
	・ 農場指導実習	12
	・ 食品安全とリスク管理論	13
	・ 法人経営論	14
	・ 起業論	15
	・ 販売実践講座	16
(イ)	選択科目	17
	・ 共通科目講座（有機農業）	17
	・ 農政時事	18
	・ 農業機械学	19
	・ 家畜解剖学	20
	・ 大畜産論	21
	・ 有害鳥獣対策講座	22
ウ	専攻実習	23
エ	研究成果（課題研究）	35

1 教育理念

千葉県立農業大学校(以下「大学校」という。)は、本県農業の発展に寄与する優れた農業の担い手及び指導者を育成することを目的としている。

ここで期待される担い手及び指導者とは、農業が自然の恵みを人間生活に還元する価値ある産業であるとする農業観に立つとともに、広い視野を持ち、時代の変革に速やかに対応できる高度な専門的知識・技術及び経営管理能力と客観的な判断力を有し、地域社会に貢献するために積極的に行動できる者である。

このため、大学校においては、校訓「志農創造」の理念に立ち、青年等のもつ無限の可能性の発掘と創造力の開発をめざし、教育の方針及び教育上の視点を次のとおり設定する。

(1) 教育方針

学科別教育方針は次のとおりとする。

ア 農学科

農業に関する実践的な知識、技術、経営管理能力を有する農業の担い手を育成する。

イ 研究科

農業に関する実践的かつ専門的な知識、技術、高度な経営管理能力を有する農業の担い手や指導者を育成する。

ウ 農業研修科

新たに就農しようとする者及び農業者が農業技術、農業経営に関する有益かつ実用的な知識・技術を習得するための研修を行う。

エ 機械化研修科

農業機械の安全かつ適正な取り扱いや効率的利用のための知識・技術習得するための研修を行う。

(2) 教育上の視点

次の視点に立ち教育を進めるものとする。

ア 広い視野を持つ豊かな人間性の形成

農業を、社会構造、経済構造及び農政の動向等、幅広い視点から捉え判断できるよう、豊かな人間性の形成をめざす。

また、寮生活の共同学習、集団生活を通して、自立と協調の精神を培う。

イ 高度な専門的知識・技術・経営管理能力の習得

農業における著しい技術革新に対応するため、高度な知識・技術並びにこれを駆使する経営管理能力の習得をめざす。

ウ 地域社会における指導者としての資質の養成

優れた農業経営者として、また地域社会における指導者として、その役割を果たすため、幅広い教養の会得と指導力を養成する。

エ 土に根ざした実践力のかん養

理論だけでなく、実践的な教育を通して、農業における創造のよろこびや可能性を追求できるような人間性を育む。

2 履修規程

(目的)

第1条 この規程は、千葉県立農業大学校校則(以下「校則」という。)第19条第2項及び第48条の規定により授業科目の履修及び成績の評価に関する事項を定めるものとする。

(時間割並びに授業科目)

第2条 校長は授業計画と授業科目の時間割を年度の学期初めに公示する

(単位制)

第3条 学生は、個々の授業科目を履修し、当該授業科目に与えられた単位を取得するものとする。

(授業科目履修届)

第4条 授業科目のうち教養科目及び専門教育科目は、必ず履修しなければならない必修科目及び各学生の専門的な研究及び卒業に必要な単位数を考慮して選択される選択科目で構成する。

2 学生は、選択しようとする授業科目について、各学期の始めの授業科目に関する説明会の開催時に、授業科目履修届(別記1号-1様式、第1号-2様式)を校長に提出しなければならない。

3 授業科目履修届を提出した後の取消し又は変更は、原則としてこれを認めない。

(出席要件)

第5条 学生は、授業科目の単位を取得するためには、履修しようとする授業科目の授業時数の5分の4以上出席しなければならない。

校則抜粋

(欠席)

第13条 生徒は、疾病その他の理由により授業を欠席しようとする場合は、その理由を付した欠席届(別記第10号様式)を校長に提出しなければならない。この場合において、疾病による欠席が連続して7日以上にわたる場合は、医師の診断書を添えなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、生徒が忌引、災害その他やむを得ない理由により授業に出席できない場合は、校長が別に定めるところにより、欠席の扱いとしない。

3 同一の教科において、30分以内の遅刻、早退又は一時退席を3回行った場合は、1回の欠席の扱いとする。

4 前項の規定にかかわらず、実習については、遅刻又は早退を行った場合は、原則として欠席の扱いとする。

(単位の認定方法)

第6条 授業科目の単位の認定は、前条の出席要件を満たしている者に対して筆記試験、論文、レポート、学習態度等により総合して認定するものとする。ただし、演習、実験、実習等の授業科目については、筆記試験を省略し、論文、レポート、出席状況又は学習態度によって認定することができる。

- 2 授業科目の成績の評価及び単位の認定は、次の各号に掲げる方法によって行うものとする。
- (1) 成績の評価は、100点法をもって行う。
 - (2) 成績の評価が50点から100点までの学生を認定とし、50点未満の学生を不認定とする。
 - (3) 成績証明書及び学籍簿の記載は、次の表に掲げる標語をもって表示する。

判定		認定			不認定
評価	点数	100点～80点	79点～65点	64点～50点	49点～0点
	標語	優	良	可	不可

- 3 本校における学業成績の評定平均値は、前項に規定する成績評価を用いて、次の計算式により算出するものとする。

$$\text{※計算式} (\text{優} \times 4 + \text{良} \times 3 + \text{可} \times 2) \div (\text{優の科目数} + \text{良の科目数} + \text{可の科目数})$$

(技能審査成果の単位認定)

第7条 本校における技能審査の成果における単位認定の種類、対応科目、認定の単位数は、別表のとおりとする。この場合において、校長は、学生が別表の資格の欄に掲げる技能審査に合格し、資格を取得した場合は、当該学生からの申請に基づき、同表対応科目の欄に掲げる授業科目に同表技能単位の欄に掲げる単位数を認定することができる。

- 2 前項後段の認定を受けようとする学生は、技能審査の成果の単位認定申請書（別記第2号様式）を校長に提出しなければならない。
- 3 第1項後段の規定により認定することができる単位数は、5単位を限度とし、在学中における受検により合格した資格に限り認定を行うものとする。
- 4 同一の種類 of 技能審査で2つ以上の級等に合格した場合は、上位級の単位数を認定するものとする。
- 5 校長は、第1項後段の規定により単位を認定する場合は、当該単位に係る成績の評価は行わない。
- 6 校長は、第1項後段の規定により単位を認定した場合は、当該単位を卒業の認定に必要な単位数に加算できるものとする。この場合において、当該認定に係る学生の学業成績記録に認定単位数、資格の種類及び合格日を記載するものとする。

(研究科における単位認定の特例)

第8条 本校研究科における科目単位を本校農学科在籍時に取得した場合は、研究科の単位として、当該学生からの申請に基づき、認定することができる。

- 2 前項の認定を受けようとする学生は、単位認定申請書（別記第3号様式）を校長に提出しなければならない。
- 3 第1項の規定により単位を認定する場合は、当該単位に係る成績は農学科在籍時に取得した評価とする。

(再履修)

第9条 学生は、単位の取得の認定が行われなかった授業科目について、単位を取得しようとする

場合は、再履修実施願（別記第4号様式）を校長に提出し、再履修をしなければならない。

- 2 単位の取得の認定が行われなかった授業科目がある者は、当該年度中又は翌年度以降に再度、評価を受けなければならない。
- 3 単位の取得の認定が行われなかった実習がある者は、当該年度中又は翌年度以降に再度、実習を行った後に評価を受けなければならない。

（筆記試験）

第10条 本校の筆記試験は、学生全員を対象に各学期末に行う定期試験及び授業科目の授業時間内で適宜な時期に行う臨時試験とするものとする。この場合において、実施日を少なくとも7日前に、学生に通告するものとする。

- 2 所定の期日に病気、事故その他のやむを得ない事由で筆記試験を受験できなかった者に対しては、追試験を行うものとする。
- 3 前項の追試験を受けようとする者は、速やかに追試験願（別記第5号様式）に、欠席届（別記第6号様式）及び医師の診断書、事故の証明書その他の欠席の理由を証明する書類を添えて、校長に提出しなければならない。

（受験上の注意）

第11条 筆記試験を受験する学生は、次の各号に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 学生は、特別の指示がない限り、試験開始の5分前に所定の教室に入室すること。
- (2) 特に指定された場合は指定の座席において受験すること。
- (3) 受験に必要な物品以外は試験監督者の指示する場所に置くこと。
- (4) 受験中は筆記用具類の貸借をしないこと。
- (5) 試験開始後30分以上が経過しなければ退室してはならない。
- (6) 30分以上遅刻した者は、原則として受験することができない。
- (7) 答案に学籍番号及び氏名の記載がない場合は無効になることがある。
- (8) 試験時間が終了したとき、又は終了前に答案を作成し終わったときは、特に指示がない限り、教卓上に提出し、又は試験監督者に直接手渡して、静かに退室すること。

（不正行為）

第12条 筆記試験の受験中に不正行為があった場合は、直ちに答案を回収し、当該不正行為を行った学生に対して退室を命じる。この場合において、回収した答案は無効とする。

- 2 不正行為を行った学生は、校則第28条に規定する懲戒の対象とする。

（補則）

第13条 この規程に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

附則

（施行期日）

- 1 この規程は、平成24年4月1日から施行する。

(千葉県農業大学校履修規程の廃止)

- 2 千葉県農業大学校履修規程は、廃止する。

附 則 (平成 26 年 3 月 7 日一部改正)

この規程は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

- 3 この規程は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

(附則一部改正)

- 4 この規程は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

(附則一部改正)

- 5 この規程は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。

(附則一部改正)

- 6 この規程は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。

(附則一部改正)

- 7 附 則 (令和 3 年 3 月 9 日一部改正)

この規程は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。

- 8 附 則 (令和 5 年 12 月 7 日一部改正)

この規程は、令和 5 年 12 月 7 日から施行する。

- 9 附 則 (令和 5 年 12 月 25 日一部改正)

この規程は、令和 5 年 12 月 25 日から施行する。

- 10 附 則 (令和 6 年 1 月 31 日一部改正)

この規程は、令和 6 年 1 月 31 日から施行する。

- 11 附 則 (令和 7 年 2 月 14 日一部改正)

この規程は、令和 7 年 2 月 14 日から施行する。

- 12 附 則 (令和 7 年 6 月 18 日一部改正)

この規程は、令和 7 年 6 月 18 日から施行する。

- 13 附 則 (令和 7 年 10 月 10 日一部改正)

- 1 この規程は、令和 7 年 10 月 10 日から施行する。

- 2 下記 農学科の「資格」「対応科目」「技能単位」は、令和 8 年 3 月 31 日まで適用する。

資格：農業派遣実習（3 週間） 対応科目：農業派遣実習 技能単位：1

[別表]

技能審査の成果の単位認定に関する基準

同一資格名で種別等が異なる資格を取得した場合、単位数の多い資格を認定する。
また、危険物取扱者（乙種）に関しては、複数の種を取得しても単位は1とする。

研究科

資格	対応科目	技能単位
日商簿記検定（3級）	キャリア形成講座	1
日商簿記検定（1，2級）	キャリア形成講座	2
農業簿記検定（1級）	キャリア形成講座	1
家畜人工授精師	家畜衛生学	2
農業技術検定（1級）	共通科目講座	1
食品衛生責任者	加工・商品開発演習 I 又はII	1

3 講義要項

(1) 教育課程表

千葉県立農業大学校校則(第18条関係)

教育課程表(研究科)(令和8年度)

令和7年度入学生(2年生)

科目群	科目	単位	時間	1年		2年		
				前期	後期	前期	後期	
教養科目	実用英語Ⅰ	2	30	○				
	実用英語Ⅱ	2	30			○		
	小計	4	60					
専門教育科目	必修科目	加工・商品開発演習Ⅰ	7	210		◎		
		加工・商品開発演習Ⅱ	7	210				◎
		農業経営実習Ⅰ	10	300		◎		
		農業経営実習Ⅱ	10	300				◎
		農場指導実習	2	60			○	
		インターンシップ研修	3	90	○			
		インターンシップ基礎	2	30	○			
		情報処理	2	30		●		
		食品安全とリスク管理論	2	30				●
		フードシステム論	2	30	○			
		法人経営論	2	30			○	
		起業論	2	30			○	
		販売実践講座	2	30			○	
		農業関係法	2	30		●		
	アグリビジネス論	2	30		●			
	キャリア形成講座	2	30	○				
	小計	59	1,470					
	選択科目8科目	共通科目講座(有機農業)	2	30			○	
		営農講座	2	30	○			
		生物工学	2	30	(開講せず)			
		発酵・微生物学	2	30	○			
		農政時事	2	30				●
		花き装飾論	2	30		●		
		生物資源利用論	2	30		●		
		園芸施設論	2	30	○			
		農業機械学	2	30				●
		家畜解剖学	2	30				●
家畜衛生学		2	30		●			
中小家畜論		2	30	○				
大家畜論		2	30				●	
有害鳥獣対策講座	1	24				●		
小計	16以上	240以上						
専門合計	75以上	1,710以上						
専攻実習	22	660			◎			
研究成果(課題研究)	4	120			◎			
合計	105以上	2,550以上						

○・・・前期
●・・・後期
◎・・・通年

○講義は、1単位15時間
○実習・演習は、1単位30時間

(2) 時間割

令和8年度 研究科時間割表
前期

学年 時限	研究科1年					月	研究科2年				
	I	II	III	IV	V		I	II	III	IV	V
時刻	9:00~10:30	10:40~12:10	13:00~14:30	14:40~16:10	6:15~17:00		9:00~10:30	10:40~12:10	13:00~14:30	14:40~16:10	16:15~17:00
月	専攻実習・課題研究 (各担当) [各専攻教室]		隔) インターンシップ基礎 (江澤・加瀬) [研1講義室]		HR [4階]	月	専攻実習・課題研究 (各担当) [各専攻教室]		農業経営実習Ⅱ (山根・宮城・菅澤) [4階会議室]		HR [4階]
火	加工・商品開発演習Ⅰ (宮城・星野・高野・江澤) [食品加工実験室・研1講義室]		加工・商品開発演習Ⅰ (宮城・星野・高野・江澤) [研1講義室]				加工・商品開発演習Ⅱ (宮城・星野・高野・藤井) [研2講義室]		加工・商品開発演習Ⅱ (宮城・星野・高野・藤井) [研2講義室]		
水	隔) 専攻実習・課題研究 (各担当) (直売) [各専攻教室]					水	隔) 専攻実習・課題研究 (各担当) (直売) [各専攻教室]				
木	キャリア形成講座 <税務> (岡見) [研1講義室]	実用英語 (石橋) [研1講義室]	# 営農講座 (平野) [研1講義室]	フードシステム論 (山崎) [研1講義室]	木		実用英語Ⅱ (石橋) [研2講義室]	起業論 (澤田) [研2講義室]	# 共通科目講座 (有機農業) (澤田) [研2講義室]	法人経営論 (平野) [研2講義室]	
金	専攻実習・課題研究 (各担当) [各専攻教室]		農業関係法 (大島) [研1講義室]		# 園芸施設論 (江澤) [研1講義室]	農場指導実習 (各担当) [各専攻教室]		販売実践講座 (屋久) [研2講義室]		金	
					# 中小家畜論 (吉田早) [第2講義室]			(就農・就職活動 専攻実習) [各専攻教室]			

隔) 隔週実施

選択科目

後期

学年 時限	研究科1年					月	研究科2年				
	I	II	III	IV	V		I	II	III	IV	V
時刻	9:00~10:30	10:40~12:10	13:00~14:30	14:40~16:10	6:15~17:00		9:00~10:30	10:40~12:10	13:00~14:30	14:40~16:10	6:15~17:00
月	専攻実習・課題研究 (各担当) [各専攻教室]		農業経営実習Ⅰ (山根・宮城・菅澤) [4階会議室]		HR [4階]	月	専攻実習・課題研究 (各担当) [各専攻教室]		農業経営実習Ⅱ (山根・宮城・菅澤) [4階会議室]		HR [4階]
火	加工・商品開発演習Ⅰ (宮城・星野・高野・江澤) [食品加工実験室・研1講義室]		隔) 加工・商品開発演習Ⅰ (宮城・星野・高野・江澤) [研1講義室]				加工・商品開発演習Ⅱ (宮城・星野・高野・藤井) [研2講義室]		加工・商品開発演習Ⅱ (宮城・星野・高野・藤井) [研2講義室]		
水	農業経営実習Ⅰ (山根・宮城・菅澤) [4階会議室]					水	農業経営実習Ⅱ (山根・宮城・菅澤) [4階会議室]				
木	情報処理 (野尻) [パソコン教室]	# 農業政策論 (外部講師・江口) 1単位7コマ [第3講義室]	# 地域資源利用 論(橋本) [研1講義室]	アグリビジネス論 (山崎) [研1講義室]	木		# 大家畜論 (新城) [研2講義室]	食品安全とリスク 管理論 (田上隆一・田上 隆多) [研2講義室]	食品安全とリスク 管理論 (田上隆一・田上 隆多) [研2講義室]	# 家畜解剖学 (岩瀬) [研2講義室]	
金	前半 経営基本管理論 (山根) [研1講義室]		専攻実習・課題研究 (各担当) [各専攻教室]		金	# 農政時事 (伊本) [研2講義室]		# 農業機械学 (安原) [研2講義室]		専攻実習・課題研究 (各担当) [各専攻教室]	
	後半 # キャリアビジョン講座 4回 (佐藤・加瀬) [研1講義室]										
	(就農・就職活動 専攻実習) [各専攻教室]										

隔) 隔週実施

選択科目

土・日曜日 8月、1、~3月	1単位、4コマ×4日	農村社会実習Ⅰ
9/2(水)~4(金)	1単位、4コマ×3日	有害鳥獣対策講座

9/2(水)~4(金)	1単位、4コマ×3日	有害鳥獣対策講座
-------------	------------	----------

(3) 研究科授業シラバス

ア 教養科目

授業科目 (履修区分)	実用英語Ⅱ (教養科目)	担当教員	石橋 喜代子
対象年次	研究科2年	期 別	令和8年度前期
単 位 数	2単位	時 間 数	30時間
教育目標	Text、TOEIC（プリント）を使い、real lifeにおける speaking、reading、listening を総合的に表現できること。 ToEICの民間テストに挑戦し、500点の取得を目標とする。 毎回、前回の成果を板書してもらい確認する。 CDによる listening を試みる。		
授業内容	1 Daily Activitie ToEIC Work 2 Tell time ToEIC Work 3 Talk about Daily Activities ToEIC Work 4 Daily Activities ToEIC Work 5 Talk about doing at school ToEIC Work 6 Describe a Dream job ToEIC Work 7 前回までの復習、板書したものをnoteする。 次回確認 8 Describe a Dream job reading ToEIC Work 9 Describe a Dream job writing ToEIC Work 10 Getting there ToEIC Work 11 Ask for a Give Direction ToEIC Work 12 前回までの復習 ToEIC Work 13 Create and Use a Tour Route ToEIC Work 14 Pre-test ToEIC Work 15 期末 test		
教科書 参考書	World English third Edition. ToEIC プリント		
成績評価 の方法	授業の取り組み、口頭実技 聞き取り実技、期末テスト 資格取得のための Work の進捗状況を総合的に判断		
備 考			

イ 専門教育科目

(ア) 必修科目

授業科目 (履修区分)	加工・商品開発演習Ⅱ (必修科目)	担当教員	宮城美紀子、藤井雄樹 江澤和哉、星野康人、 高野美奈子
対象年次	研究科2年	期 別	令和8年度 通年
単 位 数	7単位	時 間 数	210時間
教育目標	地域農産物を活用した「6次産業化」の取組に必要な知識、技術を習得する。農産物の農産加工技術、農畜産物栽培、商品化の実践を通して経営に結びつける課程を学ぶ。また6次産業化に向けたマーケティングの基本的な方法について習得する。		
授業内容	<p>1 農産加工・調理に関する知識や技術の実践力の体得</p> <p>(1) 穀類・野菜・果実の加工方法</p> <p>(2) 農産物の一次加工処理方法</p> <p>(3) 商品化を想定した加工方法</p> <p>2 商品化を想定した経営管理の実践</p> <p>(1) 1年次のデータに基づく商品コンセプトづくり</p> <p>(2) 消費者ニーズ調査の実施</p> <p>(3) 消費者ニーズの分析</p> <p>(4) 校内商品テストの実施</p> <p>(5) 価格設定(原価計算、販売価格設定)</p> <p>(6) 商品テスト</p> <p>(7) テスト販売の分析</p> <p>農業6次産業化を目指す農業者との協業による商品及びサービスの開発・販売を通じて、実践的なマーケティングの考え方や具体的な手法を習得する。</p>		
教科書 参考書	資料配布		
成績評価 の方法	出席(25%)、演習態度(50%) 成果報告(25%)		
備 考			

授業科目 (履修区分)	農業経営実習Ⅱ (必修科目)	担当教員	山根幹雄、宮城美紀子 菅澤太地
対象年次	研究科2年	期 別	令和8年度前期
単 位 数	10単位	時 間 数	300時間
教育目標	<p>経営者として必要な経営管理の視点を持ち、目標や課題を設定して自らの創造力や企画力、提案力、行動力、チームワーク力を養う。</p> <p>将来の農業経営者や農業法人の社員として必要な経営管理能力を養うため、観光ブルーベリー農園を中心とした農作物生産を通じて、ビジネス視点を持った実践的な経営感覚を体験する。また、法人運営の成長に必要なリーダーの役割や意思決定等について学習し、実践力を養う。</p> <p>さらに、加工商品開発（2次）に合わせ、原料生産（1次）及び販売促進（3次）により6次産業化を体系的に学ぶ。</p>		
授業内容	<p>模擬会社の運営を通じて次の内容を学習する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 組織運営と経営者の役割について 2 農業法人の社会的役割と成長管理について 3 ブルーベリー、農作物等の生産管理について 4 リーダーとしての労務管理 5 直売運営のための仕入管理、価格設定について 6 直売、観光農園等による販売管理 7 農産物のマーケティング戦略の実践 8 農産物加工商品開発と製造委託 9 財務諸表作成および財務管理の実践 10 情報発信と情報リテラシーについて 11 農業時事、外部環境の変化に伴う農業経営者の在り方 12 地域社会や農業者との連携 <p>以上の項目について、生産・仕入・販売を通じて基本的な法人運営を学習する。</p>		
教科書 参考書	適宜、資料を配布する。		
成績評価 の方法	授業への参加姿勢（出席状況およびグループワークでの積極性など）50%、積極性・自主的な活動50%で判断する。		
備 考			

授業科目 (履修区分)	農場指導実習 (必修科目)	担当教員	各専攻教員 (藤井 雄樹)
対象年次	研究科2年	期 別	令和8年度 前期
単 位 数	2単位	時 間 数	60時間
教育目標	<p>専門的な農業技術の深化と指導力向上を目的として、所属する各選考において、自らの研究を進めるとともに、農学科生の実習を指導する。取り組んでいる研究課題や専攻実習について、下級生を指導することにより、地域のリーダーあるいは指導者としての資質を醸成する。</p> <p>上級生として、下級生を教える責任意識、教えることのやりがい、協調性を養うことで、「自ら学び」、「自ら考える」確かな学力を育成する。</p>		
授業内容	<p>15回の実習を通じて、次の育成を図る。</p> <p>1 生産・飼育技術の習得や加工開発等の技術向上並びに農業に関する実験・調査研究に取り組み、課題解決能力を育成する。</p> <p>2 さらに、農学科生の実習においてメンターとしてアドバイスや指導を行うことで、リーダー、指導者としての資質を醸成する。</p>		
教科書 参考書	特になし		
成績評価 の方法	所属する専攻教室の担当教員が授業への取り組み姿勢(70%)や後輩指導の積極性(30%)について総合的に判断する。		
備 考			

授業科目 (履修区分)	食品安全とリスク管理論 (必修科目)	担当教員	田上 隆多 田上 隆一 白川 洋輔
対象年次	研究科2年	期 別	令和8年度 後期
単 位 数	2単位	時 間 数	30時間
教育目標	農業生産や農産物の取扱いにおける食品安全とリスク管理の基本を学ぶ。食品安全に関する危害要因の考え方を理解するとともに、コーデクス国際食品規格「食品衛生の一般原則」(2020年改訂版)に基づく考え方を踏まえ、一般衛生管理及びHACCPシステムの基礎を扱う。講義と演習を通じて、現場の課題を整理し、改善の方向性を考える力を養う。		
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 ガイダンス、食品安全とリスク管理の全体像 2 農業における危害要因の基礎(生物的・化学的・物理的危害) 3 一般衛生管理の基礎(施設・設備、清掃、使用水、個人衛生等) 4 食品安全に関する制度と衛生管理の考え方 5 演習:現場・施設における衛生上の課題の抽出 6 演習:抽出した課題の整理、改善提案、手順書等への反映 7 中間テスト及び解説 8 栽培から出荷までの工程図の作成と各工程における食品汚染リスクの整理 9 HACCPの基本的な考え方と演習の導入 10 HACCP演習(1):製品説明及び工程確認 11 HACCP演習(2):ハザード分析(前半) 12 HACCP演習(3):ハザード分析(後半)とCCPの設置 13 HACCP演習(4):管理基準(CL)及びモニタリング方法の設定 14 HACCP演習(5):改善措置、記録、検証の設定 15 総括及び海外事例による食品安全管理の考察 <p>※2・3限連続授業あり(日程は別途連絡)</p>		
教科書 参考書	<p>適宜、資料を配布する。</p> <p>「食品安全検定テキスト初級第3版」 監修:一色賢司/編集:一般社団法人食品安全検定協会/2023年11月1日 第3版発行</p> <p>「HACCP管理者認定テキスト」 編集:一般社団法人日本食品保蔵科学会 HACCP管理者認定委員会/2021年4月30日 改訂版発行</p>		
成績評価 の方法	<p>平常点(授業への参加状況、グループワーク及び発表への取組み状況)、課題(自習課題、演習課題)、中間テスト、期末レポートにより総合的に評価する。評価配分は以下の通りとする。</p> <p>○平常点 20% ○課題 20%</p> <p>○中間テスト 25% ○期末レポート 35%</p>		
備 考			

授業科目 (履修区分)	法人経営論 (必修科目)	担当教員	平野 良樹
対象年次	研究科2年	期 別	令和8年度 前期
単 位 数	2単位	時 間 数	30時間
教育目標	会社法の基礎から設立・運営の実務フローまでを体系的に学び、 法的手続きへの理解を深めることで、健全かつ持続可能な法人経営 を実現するための基礎能力を習得することを目的とする。		
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 法人の種類と会社法の成り立ち 2 持分会社・合同会社と株式会社の比較 3 会社の設立と定款の記載事項 4 資本・準備金のルール 5 増資、減資の仕組み 6 会社の機関設計のポイント 7 株主総会、コンプライアンス 8 中間レポート 9 取締役、代表取締役の機能と仕組み 10 監査役、会計監査人、会計参与の責任と役割 11 会社の会計 計算書類、決算、資金調達の方法 12 株主と株式会社の関係 13 株式公開をすることのメリット・デメリット 14 M&Aに必要な事前調査 15 試験 		
教科書 参考書	特になし		
成績評価 の方法	レポート・期末試験を実施する。評価配分は以下の通りとする。 ○期末試験:50% ○授業中に実施するレポート:20% ○授業への参加:30%		
備 考	参考図書「ここだけ押さえる！会社法の基本第2版」(ナツメ社/2021年) 「Q&A 農業法人化マニュアル改訂第6版」(全国農業会議所/2023年)		

授業科目 (履修区分)	起業論 (必修科目)	担当教員	澤田 博光
対象年次	研究科2年	期 別	令和8年度 前期
単位数	2単位	時間数	30時間
教育目標	<p>本授業では、農業経営の観点から、新たに事業を始めようとする起業家に必要な意志の強さや粘り強さなどの資質について学び、事業を起業するまでの一連のプロセスを理解し、事業に関係する資金、組織の構成員や人脈など起業する上で重要な要素を学びます。</p> <p>経営学の起業に関する専門知識を身につけることを目標とします。達成目標は、起業を成功に導く要素を学び、その要素についての演習を行うことで、ひとり一人が起業家となるための素養を身につけることで社会での実践の場で活用できるようになることです。</p>		
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 ガイダンス（授業内容の説明、教員自己紹介） 2 起業活動とは何か 3 起業活動のフレームワーク 4 事業機会の発生と認識 5 経営資源と事業機会 6 創業時の資金調達 7 創業時のパートナーの選び方／人材確保・草の根エンジェル 8 座談会向けプレゼン資料の作成（自主学习） 9 供給システムのしくみと供給システムの構築 10 起業のための事業収支計画（演習） 11 起業活動のダイナミズムと起業家の資質 12 Society5.0 と農業DX 13 起業のための要件（ビジネス要件定義） 14 アグリカルチャと起業 15 まとめ 		
教科書 参考書	<p>指定なし</p> <p>事前に配布資料を Google Classroom に掲載する。</p> <p>参考文献は、必要に応じて授業中に指示する。</p>		
成績評価 の方法	講義ノートの提出（40%）＋座談会での発表及び参加（60%）		
備考			

授業科目 (履修区分)	販売実践講座 (必修科目)	担当教員	屋久 大介
対象年次	研究科2年	期 別	令和8年度 前期
単 位 数	2単位	時 間 数	30時間
教育目標	<p>生産現場が抱える問題点や販路拡大の工夫を学ぶことにより、農業経営の発展に必要な販売に関する実践的な知識と柔軟な思考力を培う。</p> <p>実際の生産者として、また非農家からの新規就農者としての販路の確保や販売の促進について生の声を伝える。現状抱えている問題点や販路拡大の工夫を教えるだけでなく、学生主体に議論を活発に行い、より実践的な販売に対する思考や想定する力を培う。</p> <p>海外派遣実習の経験から得た海外での農業生産、販売知識を伝え、目まぐるしく変化する販売市場に対応できる柔軟かつグローバルな思考を培う。</p>		
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 我が家の農業経営、販売実績 2 近隣農家の販売スタイル 3 欧米の農業と販売 4 顧客の購買心理 5 グループディスカッション 6 直売所での価格設定、販売戦略 7 中間レポート 8 小売店出荷と市場出荷 9 有名農業法人の販売戦略 事例1 10 有名農業法人の販売戦略 事例2 11 付加価値について 12 輸出と輸入 13 販売市場のこれから 14 後期試験（販売戦略プレゼンテーション） 15 講評、グループディスカッション 		
教科書 参考書	講師配布テキスト		
成績評価 の方法	中間レポート（40%）、最終試験（40%）、授業参加態度（20%）から総合的に評価する。		
備 考	授業の進行、学生からの要望で適宜授業内容を若干変更する		

(イ) 選択科目

授業科目 (履修区分)	共通項目講座（有機農業） (選択科目)	担当教員	澤田 博光
対象年次	研究科2年	期 別	令和8年度 前期
単位数	2単位	時間数	30時間
教育目標	<p>本授業では、有機農業推進法（H18年制定）に基づく持続可能な農業を行うための「循環型農業」の目標である「1. 食と人々の融和」、「2. 有機農業と科学技術の融和」生産者と生活者をつなげる「3. 人と人の融和」を実現するための考え方や有機農業に関する生産のしくみや科学技術要素について学ぶ。</p> <p>達成目標は、有機農業の現状課題と解決に向けた取り組みについて学習することで、持続可能な循環型農業を可能とする有機生産システムのしくみと科学技術の知識を身につけ、社会での実践の場で活用できるようにする。</p>		
	<ol style="list-style-type: none"> 1 ガイダンス（授業内容の説明、教員自己紹介） 2 起業活動とは何か 3 起業活動のフレームワーク 4 事業機会の発生と認識 5 経営資源と事業機会 6 創業時の資金調達 7 創業時のパートナーの選び方／人材確保・草の根エンジェル 8 座談会向けプレゼン資料の作成（自主学习） 9 供給システムのしくみと供給システムの構築 10 起業のための事業収支計画（演習） 11 起業活動のダイナミズムと起業家の資質 12 Society5.0 と農業DX 13 起業のための要件（ビジネス要件定義） 14 アグリカルチャと起業 15 まとめ 		
教科書 参考書	<p>中野明正著 インテグレート有機農業論 誠文堂新光社 ※各自で電子書籍を購入のこと（中古の市販本あり） ※参考書は、必要に応じて授業の中で指示する。</p>		
成績評価 の方法	<p>講義ノートの提出（30%）＋プレゼンテーション（30%）＋期末試験（40%）</p>		
備考			

授業科目 (履修区分)	農政時事 (選択科目)	担当教員	伊本 克宜
対象年次	研究科2年	期 別	令和8年度 前期
単 位 数	2単位	時 間 数	30時間
教育目標	<p>優れた農業経営者や指導者を育成するために必要となる農業白書等から農政課題の知識を習得する。</p> <p>現在、5年間の「農業構造転換」集中期間に入っている。食料安全保障・環境・価格転嫁をめぐり農政は大きな転換期を迎えている。25年3月には新基本計画策定、水田農業の見直しも俎上に上る。直近の農政課題の知識習得を目指す。毎週の時事問題も取り上げ、農業問題との関連も考える。</p>		
授業内容	<p>◎農政時事とは何か</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キーワード「食料安保」「持続可能性」「国産シフト」 ・食料・農業 農政時事とらえ方と情報整理法、課題図書紹介 ・日々のニュース解説と農業・農政、社会問題も大局的に把握 <p>◎令和7年農業白書から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白書特集の内容と狙い・読み解き方 ・自給率と国際・農業生産構造 <p>◎食料安保と改正基本法・新基本計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食料・農業・農村の過去・現在・未来 ・「みどり戦略」SDGs等食トレンド ・品目別→食品業界・米麦 園芸・畜酪 ・フードテックその他新たな動き <p>◎農政と政治</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政治の仕組みと農林議員、農政への反映 ・国内外の政治見通し 米中対立と農政 初夏ダブル選挙 <p>◎最終講義15回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参考課題図書引用を含め、「農政時事」講義との絡みでレポート「食と農～5年後『2030年の私』」を提出 <p>※講義を受け自身の経営・仕事、物の見方にどう生かすか課題整理</p>		
教科書 参考書	<p>「天地の防人 食農大転換と共創社会」(伊本克宜、ベストブック)</p> <p>「フードビジネス最新キーワード64」(佐野啓介編、日経BP社)</p>		
成績評価 の方法	<p>レポート提出の上で評価。最大ポイントは、講義内容を踏まえ自分の考えが事実や具体的数字の裏付けを踏まえ主張できているのか</p>		
備 考			